

和歌山市ロケ地情報

発行: 和歌山市 観光課 発行日: 平成23年3月15日
〒640-8511 和歌山市七番丁23番地
TEL: 073-435-1234 FAX: 073-435-1263
E-mail kanko@city.wakayama.lg.jp
http://www.hall.city.wakayama.wakayama.jp/fc/index.htm

VOL. 8

ドラマ「トイシの神様」 和歌浦・雑賀崎周辺 にて撮影



◀新和歌遊園バス
停付近での撮影

昨年の紅白歌合戦でも歌われた植村花菜さんの「トイシの神様」がTBSの新春ドラマスペシャルとしてドラマ化されました。和歌山市では主人公「植村花菜」が幼少時代に、和歌山に住む父親へ会いに行く場面として、和歌浦・雑賀崎周辺にて撮影が行われました。

12月20日の早朝、外はまだ真っ暗で、ひんやりと冷たい空気です。しかもポツポツと雨が降り出してくるなか撮影は始まりました。

はじめに、雑賀崎にある喫茶店「コート・ダジュール」にて撮影を行い、主人公植村花菜を演じる芦田愛菜（あしだまな）ちゃんと父親役である徳井優（とくいゆう）さんが食事をする場面が撮られました。芦田愛菜ちゃんは多くのドラマや映画に出演している今人気のとてもかわいらしい女の子です。しかし、いざ本番が始まるとプロの女優さんへと変身します。スタッフの指示をすぐに理解し、的確に演技をこなします。

「コート・ダジュール」での撮影が終わると次の撮影場所である和歌浦のバス停「新和歌遊園」へ向かいます。こ

ナニコレ 珍百景

放送局: テレビ朝日
撮影日: H22.7.22
放送日: H22.8.11

毎週水曜夜7時~
テレビ朝日系列にて放送
中(平成23年2月現在)



和歌山城裏坂にある階段...
そこにはなんと!
階段を懸命に登る、オジサン?
お猿さん!?



「あれ? 動物園の猿が逃げ出したのかな?」
昼休憩にいつも和歌山城を散歩する坂上賢一郎さんが、和歌山城裏坂登り口付近でふと気づきました。

大事になっては大変だと捕まえようとしたが猿は動く気配もありません。よくよく見てみるとそれは木の根っこだったのです!

これは珍しいとテレビ朝日の番組「ナニコレ珍百景」に応募。撮影は、真夏の暑い中でしたが、テレビ朝日担当の方が様々な角度から約1時間! かけて根っこを撮影し、また、発見者の坂上さんに発見時の事をインタビュー形式で撮影。なんと見事その放送回で審査員が1番に選ぶMV珍に選ばれたのです!

この和歌山城の新名所には放送後さっそく、「ナニコレ珍百景」を観たと思われる観光客の方の姿がちらほら...。

こういったことがきっかけで和歌山城に足を伸ばしていただけることはとてもうれしいことで、フィルム・コミッションの醍醐味でもあります。皆さんも一度その目で確かめに来られてはいかがでしょうか。

撮影用語アレコレ

撮影などでよく使われる言葉を紹介します。みなさんご存知でしたか?

ロケハン...ロケーション・ハンティングの略で、撮影をするための下見。これをする事で、実際の撮影をスムーズにすることができます。

カチンコ...映画の撮影で思い出す道具といえば左の絵にあるようなこの道具です。これが鳴ると監督の「アクション!」が聞こえます。鳴らす時の「カチンッ!」という音からこの名前がつけられたと言われています。



タイトル変更のお知らせ

今までの「市民エキストラ通信」から「和歌山市ロケ地情報」にタイトルを新しくしました。今後ともよろしくお願いたします。

和歌山市 ロケ地実績

去年は旅番組や情報番組の撮影で和歌山市内各所にある観光地が多くの番組で紹介されました。中でも和歌の浦は昨年、国の名勝に指定されたことが話題にもなり、多くの撮影が行われました。

この和歌の浦やその他のエリアで撮影されたスポットをいくつかご紹介します。みなさんはもう訪れましたか？

- ①撮影場所
- ②番組名
- ③放送局
- ④放送日



- ①紀伊東照宮
- ②文化遺産の旅
- ③BS朝日
- ④H22.10.24 (再放送あり)



- ①玉津島神社(上)、観海閣(下)
- ②プラチナ・シート
- ③BSフジ
- ④H22.6.23(再放送あり)



- ①高津子山からの眺め(左) 不老橋(右)
- ②歴史街道～わたしたちのまちの歴史と文化
- ③J:COM ④H22.11.20(再放送あり)



他にもこんなところが紹介されました!

- ①たま電車(右上)
- ②発見!日本の旅ウオーク～ウォーキングプラス～
- ③BSフジ ④H22.12.16(再放送あり)
- ①淡嶋神社(左) ②料理の怪人
- ③テレビ東京 ④H22.10.27
- ①友ヶ島(右下) ②ズームインSUPER
- ③読売テレビ ④H23.2.7



▲バス停「新和歌遊園」にて

ここでは徳井優さんが、バスに乗って去ってしまう芦田愛菜ちゃんが見送るシーンですが、さすが俳優さんですね、目を見張る熱演を揮っていました。

大勢のスタッフが道路で様々な機材を使って作業している(左の写真と、さすがに通りがかりの方も気になっている様子でした。

今回の撮影では、2人の市民エキストラの方を含む6人の市民の方にエキストラ出演いただきました。主に、バスの乗客役でしたが、80年代という時代設定に即した格好にするために、ストールを付け替えたり、持っていた傘を別のものにしたりと、細かい

エキストラインタビュー

今回の撮影で出演いただいた市民エキストラ2人の方に撮影時の感想を伺いました。

①今回の撮影ではどんなことをしましたか。

②撮影を終えての感想

③番組を観て・・・

①バスの乗客役で、1番後の席に座っていました。

②1シーンを1時間くらいか

チェックがありました。抜かりありません!

最後に、バスが和歌浦漁港内を走るシーンを撮りました。バス内のスタッフがカメラを取りながら周到に撮影が行われていました。

和歌山での撮影が無事に終わりホッとしたのも束の間、スタッフの方はそのまま次の現場へと直行しました。残念ながら放送されなかったシーンでご出演いただいた方も含め、ご協力いただいた方々、本当にありがとうございました。

このドラマは今年の1月5日、TBS系列で放送されました。

②撮影現場を直接見学できましたし、たくさんのスタッフの方々が懸命に作業しているのに感動しました。また、俳優さんの撮影前の集中力を見て、プロ意識にすごいものを感じました。貴重な体験をさせていただきました。

③祖母の「夢は見るものやない。夢は叶えるものや。」という言葉に私も共感し、感動を覚えました。

①バスの乗客役。さらに、バスから降りてバスの後方へ歩いていくシーンもありました。

②笑いあり、涙ありの心温まるドラマで、感動しました。

③笑いあり、涙ありの心温まるドラマで、感動しました。



▲芦田愛菜ちゃん



▲和歌山城天守閣にて

昨年11月、和歌山城などで千葉テレビの「塾長・生島ヒロシの定年塾」の撮影が行われました。主に関東圏で放送される情報番組なのですが、今回は遠く和歌山までお越しいただきました。

和歌山城でのロケは天守閣から始まりました。重いカメラや機材を持って天守閣まで登るのは一苦労ですね。

しかし、天守閣からの景色を見てレポーターの方もその素晴らしさに驚かれています。

塾長 生島ヒロシの 定年塾